

令和 6年度（5年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	拠点性を発揮できる都市機能の充実		課(室)名	住宅・まちづくり推進室
	施策	中心市街地の活性化		電話番号	087-839-2136
	基本事業	タイムリーな情報発信による回遊促進		事業実施主体	市
	事務事業	中心市街地活性化推進事業（住宅・まちづくり推進室分）		事業期間	平成28年度～令和6年度

【事業全体概要】

事業の概要	本市を取り巻く環境の変化に伴い、中心市街地の人口減少や商店街の空き店舗の増加などに、にぎわい・活力の低下が見られた。この状況を改善するために、国の交付金等を活用し、平成19年5月に第1期高松市中心市街地活性化基本計画の認定を受けた。第2期計画期間においても平成30年3月で終了したため、令和元年6月に第3期計画が国の認定を受け、同年7月から基本計画に掲げられた事業が中心市街地の活性化に向けた相乗効果をもたらすよう、事業の進捗を図り官民一体となって取り組んでいく。				
6年度概要	カメラ計測による中心市街地通行量調査 中心市街地活性化協議会負担金 第3期中心市街地活性化基本計画の変更 第4期計画策定業務委託				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	2-	事務事業の種類	ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	中心市街地活性化基本計画の対象となる地区
意図（どのような状態にしたいか）	中心市街地活性化基本計画掲載事業を推進し、「中心市街地の来街魅力の強化」「タイムリーな情報発信による回遊促進」「豊かな居住環境の充実」を図り、中心市街地のにぎわいを取り戻す。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
基本計画掲載事業のうち、完了又は実施中の事業	事業	49	49	49	49	49

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
成果指標	中央商店街の歩行者通行量	人	目標値	97,721	97,721	97,721	97,721	97,721
			実績値	108,403	117,052	122,935		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 令和5年度の歩行者通行量は、5月に新型コロナウイルス感染症の取り扱いが5類感染症に移行されたことにより、イベントの再開など、にぎわいが回復し、目標を達成した。							(達成度) 125.8%
								35点
成果指標	中心市街地活性化基本計画区域内の主要観光施設年間入込客数	千人 /	目標値	1,707	2,460	2,890	2,890	2,890
			実績値	1,538	1,834	2,022		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 主要観光施設年間入込客数は、高松空港に就航している国内線の復便や、運休していた国際線の運航再開もあり、前年度から増加したものの、全体としては目標を達成できなかった。							(達成度) 70.0%
								24点

【コストの推移】

指標名	単位	令和3年度（決算）	令和4年度（決算）	令和5年度（決算）	令和6年度（予算）
トータルコスト	千円	15,505	19,176	25,609	32,307
（事業費）	千円	9,918	9,896	16,802	19,361
（職員人件費）	千円	5,587	9,280	8,807	12,946

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	統合
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

中心市街地活性化基本計画掲載の各事業は、概ね予定通り進捗している。目標達成に向けて全事業が完了若しくは継続実施中であるが、掲載されている各事業の効果がどう表れているのか、そして、それが各商店街が求められるものとなっているのか、明確に把握できないことが課題である。
コロナ感染拡大による影響で、目標達成が厳しい指標もあるが、計画期間全体の検証を行い、引き続き掲載事業の進捗に取り組んでいく。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

中心市街地の活性化に向けて、各種事業を総合的に取り組んでいく必要があり、民間事業者等との情報共有や連携を図っていく。2025大阪万博の開催も予定されており、本市へのインパウンドの大幅な増加も予測されている。現行の第3期計画の事業評価検証内容を踏まえ、令和7年4月から引き続き中心市街地の活性化を推進していくために、第4期計画を策定し、一層の活性化が図れるよう取り組んでいきたい。